

(単位：百万円)

区 分	2015年度末	2016年度末
	金 額	金 額
個人変額保険	72,598	73,068
変額個人年金保険	193,304	119,462
団体年金保険	83,916	90,577
特別勘定計	349,819	283,108

(注) 上記の数値には一般勘定貸を含めて記載しています。

## ■運用環境

### 1. 経済動向

2016年度の日本経済は、海外経済の緩やかな回復や国内労働市場の改善を背景に、雇用・所得環境が改善し、緩やかな回復が続きました。ただし、個人消費及び民間設備投資は、所得・収益の伸びに比べ力強さを欠いたものとなりました。

海外では、中国経済に対する懸念、英国の欧州連合（EU）離脱問題、地政学的リスクの影響などを背景に先行不透明感が高まりましたが、金融・財政政策の効果などにより先進国を中心に年度後半にかけて持ち直しの動きが広がり、全体として緩やかな回復が続きました。

### 2. 金利と為替

日本の長期金利は、安全資産の国債に投資マネーが流れ込む動きなどで低下する局面もありましたが、日銀の金融政策の下、概ね低位で推移しました。10年国債利回りは2015年度末の△0.05%から2016年度末は0.06%となりました。

米国の長期金利は、年度前半は英国の欧州連合（EU）離脱決定などで低下基調となりましたが、年度後半は景気回復による物価上昇期待やトランプ新政権の政策に対する将来の財政悪化懸念を背景に金利が上昇しました。

為替相場は、年度前半は英国の欧州連合（EU）離脱決定や米国の利上げ観測の後退などから円高が進みましたが、年度後半から欧米の長期金利が大きく上昇し、日本との金利差が拡大したことを背景に円安となりました。年明け後は米国の長期金利の上昇が一服したことなどから円高となり、ドル円相場は2015年度末の112.68円から2016年度末は112.19円と概ね横ばいとなりました。

### 3. 株式市場

国内株式市場は、英国の欧州連合（EU）離脱決定を受け円高が加速したことから、一時大幅に下落しましたが、11月以降米国の新政権の政策に対する期待などにより円安が進行したことから大きく反発しました。その後、新政権の政策の不透明さなどから調整したものの、日経平均株価は2015年度末の16,758円から2016年度末は18,909円となりました。

米国株式市場は、概ね国内株式市場と同様の動きを辿りましたが、個人消費の増加に支えられた景気回復やトランプ新政権での政策期待を背景に主要な株式指標が過去最高値を更新するなど堅調に推移しました。欧州市場も概ね米国同様の推移となりましたが、米国に比べ上値はやや重い展開となりました。

## ■運用内容及び運用方針

### 1. 変額保険（有期型・終身型）・変額個人年金保険（基本年金額保証型）

#### (1) 運用内容

変額保険については、年度を通じて、世界経済が緩やかな成長を継続するとの見通しのもと、内外株式の組み入れをやや多めとし、世界的な低金利環境が続くとの見通しのもと、内外債券の組み入れをやや少なめとしました。

一方で、変額個人年金については、世界経済の動向を考慮しつつ、年金資産としての運用の安定性にも配慮しました。

外貨エクスポージャー（為替レートの変動を受ける部分）については、外貨建資産組み入れ相当としました。

#### ① 公社債

国内債券の平均残存期間は、日銀による金融緩和策のもと、概ね長めとしました。債券種別配分は、事業債の組み入れをやや多めとしました。外国債券の平均残存期間は、景気、金融政策の動向を睨みながら、米国はほぼ中立とするものの年明け以降やや短め、欧州は年度前半がやや長め、年度後半からやや短めとしました。

#### ② 株式

株式は内外ともに、企業の収益性や資産価値等の面から相対的に魅力度の高い銘柄を選択し、銘柄を分散することにより、個別銘柄の影響度を過度に高めない運用を行いました。なお、年度を通じて貸株による運用は行っていません。

#### (2) 運用方針

当社特別勘定は、中長期的に安定した総合収益の拡大を通じて、特別勘定資産の実質価値の増大に努めることを運用の基本方針とし、国際分散投資を実践しています。

運用の実践に際しては、三井住友アセットマネジメント株式会社の投資助言に基づいて行っています。

### 2. 投資信託を主な投資対象とする個人変額保険および変額個人年金保険

以下に掲げる商品については、各特別勘定の主たる投資対象となる投資信託等の組入比率を原則高位に維持する運用方針を継続しています。

・一時払変額終身保険（複数勘定型）、一時払変額個人年金保険（複数勘定型）、一時払変額個人年金保険（年金原資産保証型）、一時払変額個人年金保険（目標到達時定額変更型）。

## 5-3

## 個人変額保険（特別勘定）の状況

## 保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額保険（有期型）	212	1,866	161	1,482
変額保険（終身型）	37,927	286,402	37,122	278,596
合計	38,139	288,269	37,283	280,079

(注) 保有契約高には定期保険特約部分を含みます。

## 年度末個人変額保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	—	—	—	—
有価証券	70,722	97.4	71,153	97.4
公社債	20,385	28.1	19,434	26.6
株式	24,531	33.8	25,450	34.8
外国証券	20,445	28.1	20,943	28.7
公社債	7,880	10.8	6,419	8.8
株式等	12,564	17.3	14,523	19.9
その他の証券	5,359	7.4	5,325	7.3
貸付金	—	—	—	—
その他	530	0.7	414	0.6
一般勘定貸	1,346	1.9	1,499	2.0
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	72,598	100.0	73,068	100.0

## 個人変額保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2015 年度		2016 年度	
	金 額		金 額	
利息配当金等収入	1,652		1,363	
有価証券売却益	2,929		2,840	
有価証券償還益	0		—	
有価証券評価益	12,199		15,097	
為替差益	16		52	
金融派生商品収益	64		4	
その他の収益	—		—	
有価証券売却損	515		1,310	
有価証券償還損	7		1	
有価証券評価損	19,313		12,751	
為替差損	13		53	
金融派生商品費用	46		—	
その他の費用	0		0	
収支差額		△ 3,033		5,240

## ■個人変額保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

### 1. 有価証券の時価情報（個人変額保険特別勘定）

#### (1) 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益
売買目的有価証券	70,722	△ 7,113	71,153	2,345
公社債	20,385	759	19,434	△ 773
株式	24,531	△ 4,793	25,450	2,227
外国証券	20,445	△ 2,675	20,943	656
公社債	7,880	△ 687	6,419	△ 323
株式等	12,564	△ 1,987	14,523	979
その他の証券	5,359	△ 403	5,325	234

(注)「当期の損益に含まれた評価損益」には振戻損益を含んでいます。

#### (2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。

### 2. 金銭の信託の時価情報（個人変額保険特別勘定）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。

### 3. デリバティブ取引の時価情報【ヘッジ会計適用・非適用分の合算値】（個人変額保険特別勘定）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。

## 5-4

## 変額個人年金保険（特別勘定）の状況

## ■保有契約高

(単位：件、百万円)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	件 数	金 額	件 数	金 額
変額個人年金保険	43,358	227,280	28,174	144,277

## ■年度末変額個人年金保険特別勘定資産の内訳

(単位：百万円、%)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	金 額	構成比	金 額	構成比
現預金・コールローン	—	—	—	—
有価証券	187,765	97.1	115,086	96.3
公社債	20,320	10.5	14,610	12.2
株式	7,716	4.0	6,151	5.2
外国証券	6,607	3.4	4,478	3.7
公社債	2,513	1.3	1,249	1.0
株式等	4,093	2.1	3,229	2.7
その他の証券	153,122	79.2	89,845	75.2
貸付金	—	—	—	—
その他	3,228	1.7	2,041	1.7
一般勘定貸	2,310	1.2	2,334	2.0
貸倒引当金	—	—	—	—
合計	193,304	100.0	119,462	100.0

## ■変額個人年金保険特別勘定の運用収支状況

(単位：百万円)

区 分	2015 年度		2016 年度	
	金 額		金 額	
利息配当金等収入		36,680		14,361
有価証券売却益		3,769		2,137
有価証券償還益		2		—
有価証券評価益		35,209		24,610
為替差益		9		14
金融派生商品収益		63		2
その他の収益		—		—
有価証券売却損		297		531
有価証券償還損		12		5
有価証券評価損		78,827		35,213
為替差損		10		27
金融派生商品費用		—		—
その他の費用		0		0
収支差額		△ 3,414		5,347

## ■変額個人年金保険特別勘定に関する有価証券等の時価情報

### 1. 有価証券の時価情報（変額個人年金保険特別勘定）

#### (1) 売買目的有価証券の評価損益

(単位：百万円)

区 分	2015 年度末		2016 年度末	
	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益	貸借対照表 計上額	当期の損益に含まれた 評価損益
売買目的有価証券	187,765	△ 43,618	115,086	△ 10,603
公社債	20,320	399	14,610	△ 935
株式	7,716	△ 2,752	6,151	278
外国証券	6,607	△ 1,601	4,478	△ 174
公社債	2,513	△ 328	1,249	△ 112
株式等	4,093	△ 1,272	3,229	△ 61
その他の証券	153,122	△ 39,664	89,845	△ 9,772

(注)「当期の損益に含まれた評価損益」には振戻損益を含んでいます。

#### (2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外の有価証券）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。

### 2. 金銭の信託の時価情報（変額個人年金保険特別勘定）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。

### 3. デリバティブ取引の時価情報【ヘッジ会計適用・非適用分の合算値】（変額個人年金保険特別勘定）

2015 年度末、2016 年度末ともに該当する残高はありません。